

「税に関する高校生の作文」優秀作品
『津南町租税教育推進協議会 津南町長賞』

税金の必要性

新潟県立 津南中等教育学校 4年
服部菜摘

国民の三大義務になっている、「納税の義務」。何かのため、誰かのためになるとはいえ、たくさんの税金を払うのは大変です。調べると、税金は五十種類もあるそうです。ですが、私がパッと思いつくものは二〜三個で、まだまだ知らない税がたくさんあるんだなと思いました。

私はずっと疑問に思っているものがありました。それは国民年金の支払いについてです。社会科の授業で今の若い人が将来もらえる年金の量が、今のお年寄りの方がもらえている年金の量よりも少なくなるというデータを見ました。「そんなの若者の払い損じゃん。」と私は思ってしまいました。私はまだ払ったことがないので年金を払う苦労を知らないですが、きっと、払うのが嫌だと感じている人も多いのではないかなと思いました。

他にも疑問があります。私は最近体調を崩しがちで、よく医療機関を受診していたので、税金のありがたみを感じていました。ですが、病気にかかった人には負担されるけど、かかっていない人はただお金を払っただけになって、国民の中で損得ができるのはおかしいのかなと思いました。病院で薬が安価で購入できたり、治療・診察が安く済んだり、税金のおかげで助かる部分も多いですが、けがや病気をする頻度は人それぞれなのでどうなのかなと思いました。

昔はよくわからない税金もあったそうです。SNSを見ていたら、たまたま「犬税」というものが流れてきました。犬を飼っている人はお金を一定額払わなくてはいけなかったようです。動物好きの人で飼いたくても飼えないという状況が今よりも多そうだなと思いました。日本では四十年前まであったそうですが、ドイツやオーストリアなどの国では、まだ存在しているそうです。このような税に比べれば、年金や他人の医療費なら、誰かのためになるのでいいのかなと思いました。

まだ税金について必要なか不必要なのか、よくわかっていない部分があります。成人年齢が二十歳から十八歳へ引き下げられ、まだまだ成人は先だと思っていましたが、気付けばあと二年で成人。今、学生のうちに関わる税は消費税くらいですが、働いて給料をもらえたら所得税の支払いや、成人したら住民税の支払いなども義務となっていきます。学生のうちからできることといえば、ちゃんと税やお金の知識を身につけることだとおもうので、将来困らないようにしたいです。自分も高校生になり義務教育が終わって、前よりもかかる費用が多くなっているので親への感謝も忘れずにいたいです。